

新聞や報道をみて意見が寄せられています。

# 財政再建の道なかばにして 議員報酬<sup>実質</sup>アップ これってどうなの？



きど 城戸 常太  
＜呉市＞



つねひろ 砂原 克規  
＜広島市西区＞



いほら 井原 修  
＜東広島市＞

広島県呉市倉橋町7379  
TEL.0823-56-1211

広島県広島市西区横川町1-5-7  
TEL.082-292-8328

広島県東広島市西条朝日町  
TEL.082-422-0555

先般の6月定例会で審議された議員報酬削減率は、議員の場合これまでの7.5%の削減率から2.5ポイント縮小可決されて5%の削減率となり、実質的に報酬アップすることになりました。この措置は今後4年間続くことになりました。

**Q.** 広島県の財政は厳しいと聞かすが、県議の報酬が上がるということは県財政に明るい展望が見えたということなのか。

## A. 広志会は削減率継続で

◆民間企業の景況感は厳しさを増していますが、県財政も厳しく、事業縮小を図っているのが実態です。

多くの借金を抱える広島県のみならず、日本経済が国際的に苦戦している中で、広島県の職員給与や議員報酬を実質的に上げるというのであれば、然るべき実績が挙がるという根拠や財政確保への明確な方程式を示すべきだと広志会は考えています。

広志会は、県は財政再建の途上にあるとして報酬削減率の継続を訴えてきましたが、議会運営で連携している最大会派による数の理論で一方向的に削減率の緩和が決められてしまいました。こうした動きは広島県だけのようで、他の中国地方4県は財政再建への協力として現行の報酬カットを継続しています。

◆湯崎知事は、当選後初めて臨んだ一昨年の12月議会で「カットに頼った財政運営はあるべき姿ではない」として課長級以下職員の給与カット中止や議員報酬削減率緩和を議会に諮り実施されました。

約2兆円の県債残高や県財政不足が勘案されていない中で知事のパフォーマンスとも言われましたが、それを可決させたのも今回の最大会派の源泉となったグループです。



広島  
県議会

# 広志会

自民党広島県議会広志議員会 フォーラム広島

**Q.** 議員定数は現状のままでいいのか。議員報酬のことだけでなく、66人という議員数が本当に必要なのかが疑問だ。

## A. 定数と報酬の抜本の見直しを

◆本来の議員報酬のあり方や議員定数についての取り組みを第3者意見も入れながら協議したらどうですかというのが私たちの考えなのです。議会活動に必要な経費は当然あります。単に報酬が多いとか少ないとかでなく、そうした研究をすることも必要です。

今回の削減率の可決は、そうした手順を踏まえることなく、県民所得や県財政の実態を無視し、自分たちの価値観だけで設定したものとしか映りません。

**Q.** 広志会の緊急提言を読んで県議会の最大会派が結成されたことを初めて知ったが、広志会は大きな会派から外されたのか。

## A. 大きな会派が正しいとは限らない

◆新聞にも掲載されましたが、議員報酬について「全国には削減していない県もあるし、平成11年から12年半も削減したからもういいだろう。」というのが最大会派にいる議長の考えのようですが、しかしそういう考え方は問題です。

議員報酬にしる、知事が提唱した広島版投資ファンドにしる、「知事与党」が誕生したら、さっそく簡単に可決してしまいました。本当にこれでいいのですか。責任とは誰がとるのですか。私たちは長いものに巻かれず真を問い続けていきたいと思っています。

◆あちらこちらで矛盾を感じる世の中ですが、家を一歩出たら政治と無関係な事象はありません。「みんなのためになるか」を判断基準に置いて、これからも広島県民のために奉仕を続けていきますので、皆様のご意見ご感想をお寄せください。

意識調査用資料 このレポートへの皆様のご意見をお待ちしています。

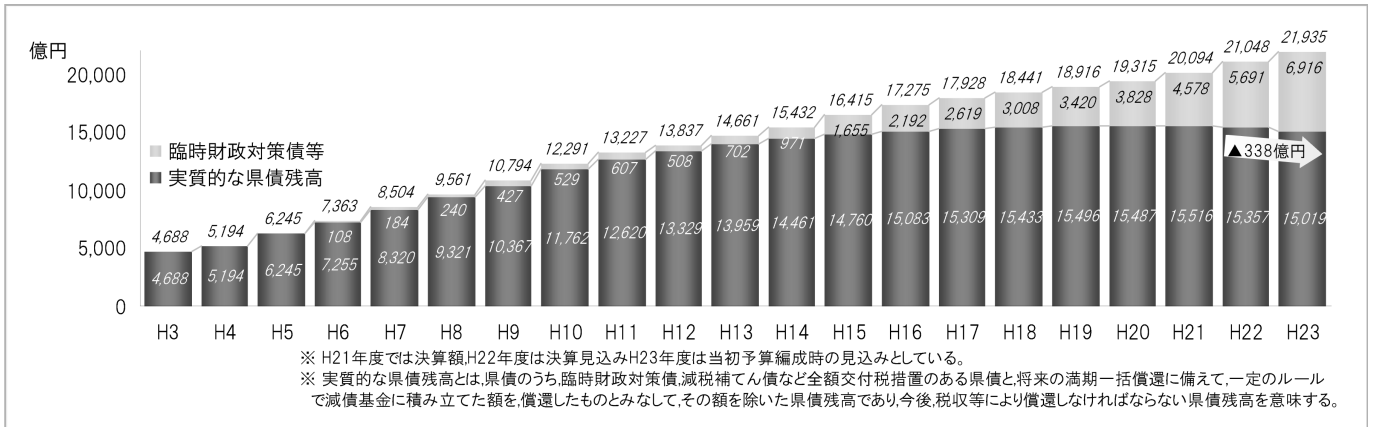
〒730-8509 広島市中区基町10-52 広島県議会「広志会」控室  
TEL.082-513-4620 FAX.082-223-0185

Mail : koshikai@s-pw.co.jp

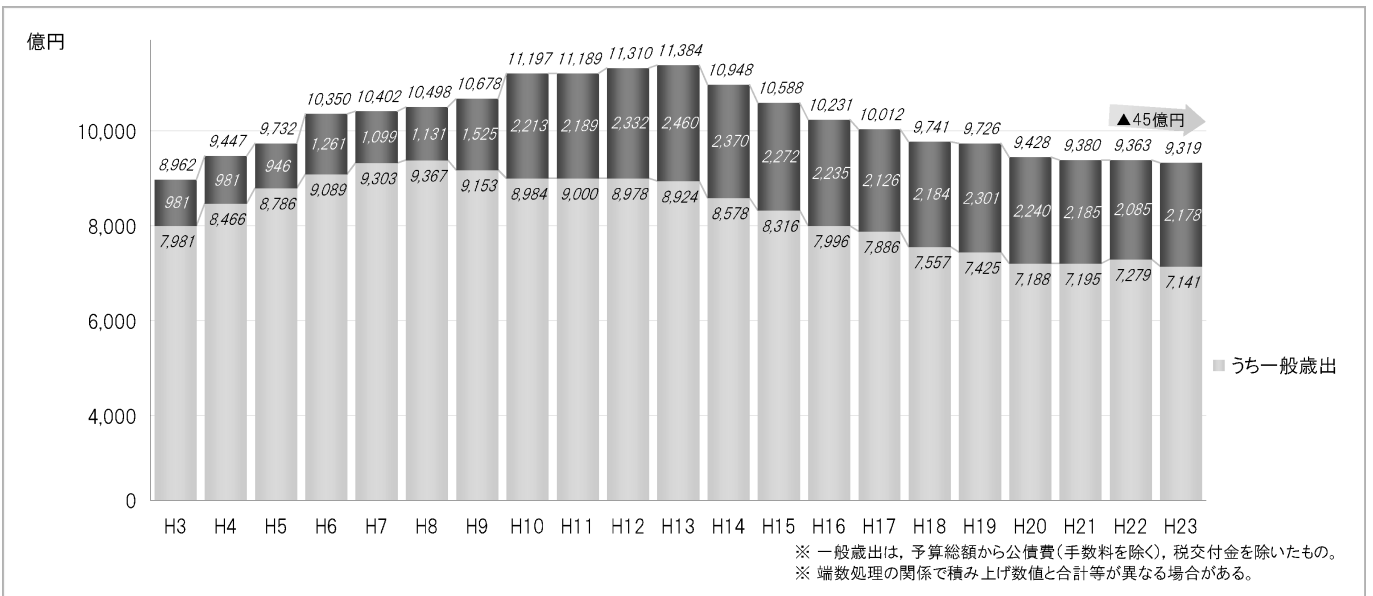
http://koshikai.com 広志会

検索

## 県債残高の推移



## 当初予算額の推移〔一般会計ベース〕



## 県税等収入の推移

